

平成30年第4回定例会 一般質問内容一覧

日 時 平成30年12月5日(水曜日) 午前9時30分から(質問順 1番から5番まで)
 平成30年12月6日(木曜日) 午前9時30分から(質問順 6番から7番まで)

場 所 新宮町役場 3階 議場

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	松井 和行 議員	1) 自主防災組織の中核となる地域防災リーダーの養成は	<p>本町では「新宮ふれあいの丘公園」の整備が進んでいる。この公園は、町の防災の要となり、地域における自主防災組織の拠点になるものであると考えます。</p> <p>また、防災拠点整備にあたっては、公園整備と併せて地域における自主防災組織の設置を促進・充実させていく必要があると考えます。</p> <p>現在、全国的に自主防災組織の中心的役割を担い、地域で率先して防災活動を実践する地域防災リーダー(防災士)の必要性が高まっており、地域防災リーダー養成事業に取り組む自治体も増えつつある状況である。</p> <p>本町においても自主防災組織の機能をさらに高め、地元消防団との連携強化を図る観点からも防災リーダーの配置は重要であると考えます。</p> <p>そこで、次のことについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町内における自主防災組織の設置状況と今後の見通しは。 2. 地域における防災避難訓練の実施状況と全町的な訓練実施の考えは。 3. 地域防災リーダーの必要性及び配置についての町の見解は。 4. 防災士の資格取得を促すため、日本防災士機構が主催する養成講座の受講等に対する助成など、防災士養成のための施策を展開するなどの考えは。 	町長
2番	庵原 伸一 議員	1) 次期町長選挙への出馬は	<p>町長は二期目にあたり、「進化するまち新宮」を実現するべく「新宮創生」「まちづくり」「子育て支援」の3つの方針を掲げ、新設の小・中学校の建設や、防災拠点となるふれあいの丘公園の整備に着手されるなど、まちづくりを力強く押し進めてこられた。また、一方では将来必ず訪れる人口減少の波を視野に入れた行財政運営にも着々と取り組んでこられている。</p> <p>来年4月には統一地方選挙を控えているが、これまでの二期、7年半の長崎町政を振り返り、次のことについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町長が上記のように掲げた方針に基づく施策の進捗状況は。 2. 現在進めているまちづくりにおける問題や今後の課題は。 3. 三期目となる次期町長選挙への意欲とこれからのまちづくりの考えは。 	町長
		2) 庁内業務の効率化(RPAの活用)の考えは	<p>現在、本町を取り巻く状況は、人口増加に併せて地方分権の進展や行政ニーズの多様化により、基礎自治体としての事務が増え、また高度化、専門化している。</p> <p>そのような中、将来的な人口減少を見据え、持続的な行財政運営を進めることはもちろん、業務の効率化は重要であると考えますが、次のことについて見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近年、業務の効率化を図るRPAが注目されている。これは職員が行う業務の一部若しくは全部をAIの技術を有するソフトウェア型ロボットが自動的に行うもので、超過勤務の削減など業務の効率化が期待できる。民間企業ではRPAの導入が進んでいるが、町ではRPAについてどのような認識を持っているのか伺う。 2. 他自治体におけるRPAの導入事例などを調査したことはあるのか。 	町長
3番	高木 義輔 議員	1) 保育園の現状と保育士緊急確保対策補助金の活用は	<p>本町は人口増加に伴い、保育施設の充実を求める住民の要望が年々大きくなっていると思われる。また、平成31年10月から実施される保育園・幼稚園等無償化に伴い、さらなる需要の拡大が予想される。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年度に保育士緊急確保対策補助金が予算化されたが、補助金の申請件数や交付額が予算額に比べ非常に少ないものとなっている。そのような決算状況を鑑みると当該補助制度は保育園側にとって申請しづらいものであったのではないかと考えるが、町長の見解を伺う。 2. 平成30年度の予算は平成29年度の補助制度を精査されたものになっているのか、また現在の補助申請及び交付状況は。 3. 来年度に向けて、保育園側がより利用しやすくなるような補助制度の検討はなされているのか伺う。 	町長
4番	上畝地 白馬 議員	1) ビズ・モデルの導入は	<p>都市圏などで活躍した企業の元経営者など、経営のノウハウを持った人が、地方の中小事業者に経営のノウハウを提供する「ビズ・モデル」の支援が始まっている。地方の中小企業や個人事業者は、事業で生産・加工や販売、サービスの提供はできるものの、事業全体を考ながら時代に合った経営することが難しい場合がある。</p> <p>時代に合った経営のノウハウを提供し、中小企業や個人事業者が持つ製品やサービスを有効活用すれば、高収益になり地域活性化につながると考える。</p> <p>そこで、以下のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営のノウハウを持つ人材を雇用して、中小企業や個人事業者が経営相談できる支援体制の構築はできないか。 2. 近隣自治体と共同で、中小企業や個人事業者が、商品・サービスのコラボレーションなどができる仕組みづくりはできないか。 	町長
		2) 読書習慣促進のしくみづくりを	<p>読書は子どもの教育にとって重要とされており、町内小中学校でも活発に読書活動を推進されている。また、社会人においても当然に読書は重要なものである。</p> <p>近年、読書と長寿の関連性の研究が進んできており、読書が寿命に与える良い影響も指摘されている。これからの高齢化社会に対応するには、健康寿命を延ばすことが大切で、さらなる読書習慣の環境整備も必要だと考える。</p> <p>そこで、以下のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町内蔵書の新着書籍や、貸出書籍ランキングなどがプッシュ通知で表示でき、読書習慣を促すことができる検索アプリの提供はできないか。 2. 町内の店舗などの一部に図書を置くなど、住民参加型の読書習慣促進環境整備はできないか。 	町長 教育長

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
5番	横大路 政之 議員	1) 職員提案制度の創設を	<p>行政にとって住民サービスの質の向上と効率化は常に取り組むべき課題と考える。本町は難関の選抜試験を突破して採用された、教育委員会を含めた169名の職員で組織されている。</p> <p>職員の資質向上と、この膨大な頭脳集団をいかに活用し機能させるかは町長に課せられた大きな役割の一つだと考える。</p> <p>そこで、次のことについて町長の見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> すべての職員を対象に新たな住民サービスや効率化のための方策を公募する。 公募されたすべてのアイデアに対して執行部の見解を付して公表し、優れたアイデアは新制度として採用すると同時に表彰する。 	町長
6番	大牟田 直人 議員	1) 協議体「しんぐるっと」を活性化する取り組みを	<p>昨年度発足した「しんぐるっと」であるが、今年度は第2層の協議体の活動も始まり、協働のまちづくりにおいて大きな力となっている。多くの住民がこの活動に参加することが、更なる町の力にならると感じる。そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成29年12月議会の一般質問において、「しんぐるっと」で出された意見で、行政施策として取り組みが必要なものは可能な限り実現に向け取り組んでいきたいとの答弁があったが、平成30年2月の最終報告会で出された意見の中で、実現に向けて取り組んでいるものはあるのか。あれば、その進捗は。また、次年度以降に取り組む予定の施策などはあるのか伺う。 今後「しんぐるっと」を活性化していくためには、町と社会福祉協議会が協力して参加者がやりがいを感じるための取り組みを進めていく必要があると感じるが、見解を伺う。 	町長
		2) 不登校児童・生徒の教育機会確保の取り組みは	<p>不登校児童・生徒は全国的に年々増え続けている中、不登校児童・生徒に対する教育機会の確保などを推進するため、平成29年2月に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が施行された。そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 町では不登校児童・生徒の教育機会を確保するために、どのような取り組みを行っているのか。 不登校児童・生徒の教育機会を確保するため、また学校への復帰の足掛かりにするために、学校以外に不登校児童・生徒の居場所が必要だと感じる。教育支援センター（適応指導教室）の設置など、学校以外に不登校児童生徒の居場所づくりはできないか。 	町長 教育長
7番	安武 寛憲 議員	1) 花立花団地大型合併処理浄化槽の維持管理と東部地区の下水処理は	<p>花立花区では住宅団地開発に併せて大型合併処理浄化槽が設置され、これまで行政区で維持管理を行ってきており、設置後25年が経過している。</p> <p>近年、施設の老朽化も著しく、経年劣化による設備の故障や破損などによる汚水の流出の可能性など、周辺環境へ悪影響を及ぼすのではないかと懸念されている。また、大規模改修ともなれば膨大な費用負担が生じることになる。</p> <p>そこで、次のことについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> これまで、花立花区の歴代行政区長より施設の維持管理を町へ移管してもらおうよう依頼されてきていると思うが、現時点における協議や検討内容等の状況及び今後の方向性について伺う。 現在、東部地区における汚水処理方法の具体的検討については中央処理区の整備完了後からと聞いているが、整備方針など基本的な方向性などの検討や関係市町との協議などは並行して進められるべきであると考えているが、現状を伺う。 	町長
		2) 花立花団地内雨水調整池の維持管理は	<p>現在、団地内の雨水調整池は地元行政区で維持管理を行ってきており、年2回の立木の伐採や除草を行っている。しかし、車両の進入も困難であるため作業には多大な労力を要している。また、今後は行政区内の高齢化や人口減少も進むため、さらに維持管理が困難になると考えられる。</p> <p>そこで、次のことについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 雨水調整池という防災機能を有する施設の維持管理のあり方について見解を伺う。今後、維持管理を町へ移管することはできないのか伺う。 池の底まで車両が進入できるようスロープの整備を行うことができないか伺う。 	町長

※質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。是非ご覧ください。

※お手元のパソコンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。是非ご覧ください。

※議場での傍聴希望の方は、当日午前9時から受付を行ないますので、**役場議会事務局前**へおいでください。

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737（直通）までお問い合わせください。

議会の傍聴にお越しく下さい。